

御遺骨収集を進めるため 県の運動進めるべき

実現!

あさのめ質問 埼玉県では、毎年、戦没者追悼式が挙行されている。この行事は、日本人の誇り、戦争の悲惨さ、無情さを何よりも雄弁に語るものだ。私は、毎年必ず出席をさせて頂いている。その折、愛する家族にどんなに会いたかったらう、どんなに祖国へ帰りがたかったらうという思いを改めて強くする。

毎年、御遺族代表の追悼の言葉を静かに拝聴させて頂いているが、「亡くなっても何年もたつてから戦死公報が届けられました。手渡されたのは、氏名を書いた一枚の紙が入っている白い木箱だけでした」との言葉が静かに述べられ、御遺骨が戻ってはいないという事実を改めて認識させられる。

戦没者遺骨収集推進法が4月1日に施行された。同法には、遺骨収集は国の責務と改めて明記をされている。厚労省が外務省などの関係省庁と協議して、遺骨収集の基本計画を作成することになった。

戦争が終結し70年もの時間が経つて、やつの出来事だ。政治の怠慢であつたと言えないか。しかし、集中収容期間9年間の成果に期待をする1人でもある。実際の遺骨収集は、厚労省が新たに指定する法人が担う。日本遺族会、全国強制抑留者協会、日本青年遺骨収集団など、12団体が参加して発足する。

法人が、指定を受けるために準備を進めると聞いている。

遺骨収集は政府の事業だが、身元調査のための関係遺族の調査、また連絡など、埼玉県が連動する部分は多いはず。御遺骨や水筒、万年筆、印鑑などの遺品を、待つている遺族たちに返してこそ事業が完了する。関係遺族のもとに返還されるまで手間取るようだが、**更なるスピードアップのために埼玉県も努力を続けてほしい。**

福祉部長答弁 県は、国と連携し収容された遺骨の調査や身元が判明した遺族への引渡しを行っている。

調査は、戦前、戦中の家族関係をたどるため困難を伴い、関係市町村の協力も必要だ。県が行う遺族調査は、戦没者遺骨収集推進法の施行で今後後件数が増えることが見込まれる。

適切に対応するため、体制の充実と効率化に努め、御遺族のもとに1日でも早く御遺骨が届くように努めていく。

(平成28年6月質問)



埼玉新聞

浅野目 養氏

(民進・無所属 さいたま市浦和区)

【質問】戦没者遺骨収集を進めるための戦没者遺骨収集推進法が4月1日に施行された。遺骨収集は政府の事業だが、身元調査のための関係遺族の調査、連絡など、関係市町村の協力も必要だ。県が行う遺族調査は、戦没者遺骨収集推進法の施行で今後後件数が増えることが見込まれる。

戦没者遺骨収集促進を

【田舎橋】硫黄島の遺骨収集は、国が派遣する遺骨収集団が民間企業を誘致して自衛隊機を使用した実施し、持ち帰った遺骨を国に引き渡している。民間企業から千鳥ヶ淵遺骨センターに運ばれたが、最初に日本の地を踏む場所は埼玉県。私個人としては、入間基地に到着するまで何らかの形で遺骨をお預りするよう場面立ち会いた。

実現!



日本青年遺骨回収団役員と

(平成28年6月質問)

年の時間を経てようやく帰国された。最初に祖国の地を踏むのが埼玉。首長として遺骨を迎える思いは、

【田舎橋】硫黄島の遺骨収集は、国が派遣する遺骨収集団が民間企業を誘致して自衛隊機を使用した実施し、持ち帰った遺骨を国に引き渡している。民間企業から千鳥ヶ淵遺骨センターに運ばれたが、最初に日本の地を踏む場所は埼玉県。私個人としては、入間基地に到着するまで何らかの形で遺骨をお預りするよう場面立ち会いた。

硫黄島御遺骨人間基地へ帰還 知事出迎えよ

あさのめ質問 硫黄島で収容された御遺骨についてだ。やつとたどり着いた望郷の祖国日本の地を最初に踏まれるのが、入間市、狭山市にまたがる航空自衛隊入間基地であることを御存じだろうか。

1年間かけて収容された御遺骨が、年度末にまどめて現地から**ここ埼玉県にお帰りになる**。つまり、戦後71年の長き時間を経てようやく御帰国され、お迎えする地は埼玉県である。

入間基地から厚労省を経て、千鳥ヶ淵墓苑へと向かわれる。埼玉県内の道路を南下されるのだ。久しぶりに見る

祖国は、どのように映っているのかと思われる。帰還地の首長として無視していいはずはなく、知事からできることも含めて、思いを述べてほしいと思う。

知事答弁 硫黄島は先の大戦で望郷の思いを胸に2万人を超える日本人が命を捧げた激戦地。また約半数の遺骨が眠ったままだ。遺骨収集は、国が派遣する収集団が入間基地を発着地として自衛隊機を使用して実施し、持ち帰った遺骨を国に引き渡している。

このことを浅野目議員からお聞きするまで全く知らなかった。不明を恥じ申し訳なく思う。

最初に日本の地を踏まれる場所が埼玉県。私が何をできるか関係機関とも調整が必要だが、私の思いは入間基地に到着する時に何らかの形で遺骨をお迎えする**ような場面に立ち合いたい。**

県として硫黄島の英霊に哀悼の意をしっかりと伝えしていきたい。

県内にある多様な建造物(インフラ)は埼玉県の誇り

実現!

あさのめ質問 県土整備部秩父県土整備事務所は、ネット上に「秩父4ダム」のダムカードを集めよう」とのページをアップしている。

「荒川上流域では、荒川上流ダム群(二瀬ダム、滝沢ダム、浦山ダム、合角ダム)が日々活動しています。ダム見学等を通じてもっと深くこの4ダムのことを知ってもらいたいと思っています」と書かれています。

4ダムをめぐるとツアーが大人気だ。点検放流(クレストゲート)の日には、100人を超える人々が集まる。

また、この4ダム以外にも、ダムカードを来訪者に配っているのは5か所だ。さいたま市の荒川調節池、飯能市の有間ダム、幸手市の権現堂調節池、加須市の渡良瀬調節池、神川町の下久保ダム。こちらも人気だ。

つまり、埼玉県では**9枚のダムカードが発行されている**。ダムマニア、観光客の心を刺激し、埼玉県にある**建造物へ見事に誘引させている**。

県土整備部県土整備政策課は、ネット上に「秩父路の道の駅・観光施設で橋カードを集めよう」とのページをアップしている。

「埼玉県は、秩父路の道の駅や観光案内所などの観光施設で橋カードを配

布します。雄大な風景にマッチした美しい橋、地域の特色を活かした観光施設があります。」と書かれています。

秩父市の倉尾橋、長瀨町の高砂橋、寄居町の末野大橋など、特色ある10橋の橋カードが発行されている。橋カードは、盛り上がりを見せるダムカードを強く意識し作成されたと想像される。橋カードは**全国でもまれだ**。しかも、地元でのレジャーや食事などで使ったレシートを持っていくと取得できるなど、**一ひねり加えたインセンティブがあり**、考案した職員の知恵を評価したい。

ダムカード・橋カードの成功実例を基礎に、カードを他のインフラにも広げられないか。

ダム、橋にとどまらず、トンネル、県道など、多様なインフラが存在している。いずれも埼玉県の誇りだ。トレーディングカードには集める楽しさが付加され、国民的な話題性や大流行の実績がある。QRコードにより動画等を配信させたり、SNSとの組合せ展開など、無限のパフォーマンスの充実を図ることについても、県土整備部長から答弁が欲しい。

「ダムカード」は平成19年から国土交通省と独立行政法人水資源機構が作成した。現在全国で487種類ある。

そのうち埼玉県内では、県所有のダムを含め9種類あり、ダムを訪れた見学者に約29万枚配布している。

一方、橋カードは埼玉県が平成27年3月に作成し、地域の振興を図るため、橋の写真、秩父地域発行のレシートと引き換えに約3000枚配布してきた。

カードを他のインフラにも広げられないかについてだが、県内にはダムや橋りょうの他にも、一般国道の山岳トンネルや、日本最長の秩父市の雁坂トンネルや、日本近代土木遺産に選出とさがわ町の七重川砂防堰堤群など魅力的な土木施設がある。これらインフラへの関心を高め、愛着を深めることにつながる。

QRコードなどを付加することは、カードの魅力を高める。

ダムカードは国土交通省が定めた統一のデザインで発行されているため、同省の見解を確認し対応する。橋カードは、新たに印刷する際にQRコードなどを導入する。



解説 当時9種類であったダムカードは現在13種類と充実した。QRコードが付加されたカードも制作され、パフォーマンスが充実した。

(平成28年6月質問)

半旗を掲げ 反戦を強く決意せよ

8月15日は「戦没者を追悼し日本の平和を祈念する日」

実現!

あさのめ 8月15日とはどんな日か。政府はポツダム宣言を受諾し、翌1945年8月15日の正午、昭和天皇による玉音放送がラジオから流れ、日本が無条件降伏したことが国民に伝えられた。8月15日は、第2次世界大戦が終結した日。我が国が、平和と民主主義の国家づくりを決意した日だ。



▲▼熊谷空襲(昭和20年8月15日) ※解説参照

悲惨な結果の戦争でもあった。この8月15日は、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」となっている。1963年、昭和38年から毎年、政府主催による全国戦没者追悼式が行われている。政府は、8月15日の式典当日は、国立の施設には半旗を掲げることとし、地方公共団体にも同様の措置をとるよう通知で勧奨している。



質問1 今年の状況だが、今年8月15日の埼玉県の半旗の掲揚状況はどうだったのか。まず、埼玉県諸施設の状況を、福祉部長からお答えをいただきたい。

福祉部長答弁 毎年、8月15日に政府が執り行う全国戦没者追悼式にあわせ、厚生労働大臣から県に対し、追悼の趣旨の徹底として、県施設での国旗の半旗掲揚について依頼がある。本年度も依頼の趣旨を踏まえ、福祉部から地方庁舎等を管理する各地域機関の長あてに半旗掲揚のお願いをした。今年の8月15日は日曜日で休日であり、天候は雨だった。全ての庁舎で半旗掲揚は行われていなかった。

質問2 県教育施設ではいかがな状況か、教育長からお答えをいただきたい。

教育長答弁 毎年、全国戦没者追悼式に合わせ、文部科学事務次官から県教育委員会に対し、半旗掲揚について厚生労働事務次官通知の趣旨に則った取り扱いの依頼があり、本年度も県立学校及び教育機関へ通知した。

一方、近年は、学校の働き方改革を進めるため、文科省から、夏休みなど長期休業中の一定期間に、学校閉庁日を積極的に設定するよう求められており、県でも、お盆の時期を学校閉庁日としている学校が多い。

今年の8月15日に半旗掲揚を行ったのは県立学校では176校中2校であった。

あさのめ 警察は、ほぼ全施設で掲揚。けれども埼玉県施設においては、ほぼ掲揚なし。埼玉県立学校は、掲揚が僅か2校。埼玉県内のほとんどの施設と学校の空には、半旗が掲揚されなかったということになる。理由は、今年の日曜日であったため、雨が降っていたため。

実は、昨年も土曜日であったため、埼玉県庁では上がっていたが、埼玉県浦和合同庁舎では上がっていない。浦和高等学校でも上がっていない。ほとんどの箇所で見えていなかったことを私はこの目で見ています。

働き方改革で、土日は掲揚する職員がいない、そのことを私は批判はしない。雨だから掲揚できなかった、そのことも非難はしない。

しかし、戦後76年、この8月15日に、先の大戦の戦没者を追悼する、反戦の意思を強く示すということは、埼玉県にとり、とても重要なことではないかと私は思う。掲揚状況が場所によって、天気によって、曜日によって、濃淡があつてよいのかと聞きたいのだ。

教育長から答弁があつたが、県公立学校の中で、高校は2校だけが掲揚された。川口北高等学校、草加高等学校の2校だ。この雨に濡れた半旗を見つ

めた2校の周辺の方々は、ああ、今日は8月15日なんだという思いに至った方もいたはずだ。

2校の校長先生とお話をさせていただいたが、お二人とも「上げるべきと思った」と話されている。

質問3 来年の8月15日は月曜日だが、県の教育施設では半旗について、工夫はできないのか、教育長、答えてほしい。

教育長答弁 戦後76年が経過し、戦争を知らない世代が多くなっている中、8月15日に戦没者を追悼し、平和を祈念することは大切なこと、県の施設である県立学校等で半旗を掲揚し、その意思を表すことは重要である。

学校閉庁日の設定なども工夫しながら、来年の8月15日には、県立学校その他の教育機関において半旗を掲揚するよう働きかけていく。



彩の国すこやかプラザ(浦和区針ヶ谷)の半旗(令和4年8月15日)

質問4 埼玉県諸施設についてはどうするか、知事、答えてほしい。

知事答弁 8月15日は戦没者を追悼し日本の平和を祈念する、私たちにとって特別な日だ。県民の多くが戦後生まれとなる今日、先の大戦の惨禍に思いをはせ、平和の尊さをあらゆる機会を通じて伝えていかなければならない。政府が執り行う全国戦没者追悼式に合わせ、県施設で半旗掲揚を行うことは、戦没者への追悼の思いと恒久平和を願う、県としての意思の表れと考える。

従来より、休日である土曜日、日曜日は掲揚していなかったが、今後は8月15日のような特別な日には、休日であっても掲揚したい。

来年の8月15日、雨天でなければ、県の思いを表すため、各庁舎で半旗を掲揚したい。



埼玉県立浦和高等学校(浦和区領家)の半旗(令和4年8月15日)



埼玉県庁(浦和区高砂)の半旗(令和4年8月15日)

解説 ●埼玉県の空襲 『埼玉県史』によると、埼玉県内では終戦までに40数回の空襲を受けた。県南部工業地帯の川口市などの都市や飛行場に隣接する地域が被害を受けた。私の選挙区浦和でも、昭和20年4月13日深夜から14日朝に空襲の記録が残っている。前ページの写真は、熊谷空襲のもの。昭和20年8月15日0時23分から1時39分にかけて行われた。玉音放送は同日12時に流されたわけだから、太平洋戦争終結直前の最後の空襲と言える、悲劇の空襲だ。

●長崎では毎月9日半旗も 長崎に原爆が投下された8月9日にちなみ、長崎市内の小中学校で毎月9日に国旗や校旗を半旗にする活動が広まりつつある。生徒や児童に8月だけだけでなく毎月原爆のことを思い出してもらおうと、県原爆被爆教職員会副会長の山川剛さんが提案したことがきっかけ。(令和3年10月質問)

県立高等学校入学者選抜の「外国人特別選抜」希望を広げる未来をつくれ 高校進学へのチャンスを

あさのめ質問 日本人の高校進学率が100%に近い現在、国内に暮らす外国人のそれは、場合によっては60%前後の状況が全国的には続いている。国の有識者会議などでも課題の一つとして挙げられている。

外国人労働者の受入れ拡大を図る出入国管理法が成立したことは、極めて大きな国の転換点でもある。

一昨年、県教育委員会が実施する外国人特別選抜の制度につき、「6高校でこの制度が実施されている。実施校が少なく、定数10名なのに、受検者数3とかゼロの高校、合格者0とか1の高校がある。受検者や合格者が極端に少ないのはなぜか」と問い掛けをした。

知事答弁は「教育委員会には、将来、外国人生徒が増えることを前提に、根本的に外国人特別選抜の在り方、受け入れた外国人児童生徒の学習支援など研究をしっかりとすることが必要」と答えている。改めてこの席で申し上げたいと思う。私に思ふ。

当時の教育長の答弁は「外国人を含む日本語の支援が必要な生徒をよ

り積極的に受け入れられる仕組みなどを今後検討していく。グローバル化が進む中、増加が見込まれる外国人の高校進学への支援や、入学後生き生きと学習できるように支援を進めていく」だった。

これらを受け、平成30年度から、この外国人特別選抜は6校から4校増え10校で実施されるようになり、定数は60人から80人へと枠が広がった。門戸を広げたこの施策は、実際好ましいことと私にも思われた。

しかしながら、入試結果によれば、志願者も受検者も前年度から10人減ってしまった。入学者は11人から17人へと、たった6人しか増えなかった。募集人員を志願者が上回ったことがないことや、合格者数が少ないなどの課題が依然として解消されていない。効果がなかったと言われても仕方がない事態だ。

外国人の高校進学が確実に増加が見込まれる情勢下、彼らに高校進学への機会を逃すことがないようにと私は思う。

教育長答弁 県立高校の外国人特別選抜は、当初は、日本在住期間が比較的短い外国人の生徒を対象とし、

外国語科などの設置校6校で実施していた。

平成30年度からは普通科高校4校を加え、外国人生徒を広く受け入れられるように対応したが、受検者の増加にはつながらなかった。

一方、平成29年度の調査では、日本語指導が必要な生徒は、県立高校に238名在籍しており、外国人特別選抜実施校以外にも、一般募集で入学した外国人生徒が数多く在籍している。この状況を踏まえ、実施校の見直しを行うなど、**外国人生徒が志願しやすい仕組みを検討する**。

また、日本語指導が必要な生徒が多く在籍する県立高校には、支援員を配置し、言語に起因する学校生活の問題の解決を図る。多文化共生の精神を育成する交流事業などを実施している。

これらの取組を通じ、今後とも、外国人生徒を社会を構成する一員として受け入れていくという視点に立ち、高校進学への機会を逸することがないように努めていく。

解説 県内の国際化が進んでいる。支援は必要。

実現!

児童養護施設の出身者の埼玉県立大への進学

希望を広げる未来をつくれ 等しくチャンスをつくれ

あさのめ質問 虐待を受けた、実の親が養育できないなど、児童養護施設で暮らす子供たちの入所理由は様々だ。幼い頃に絶対的な無償の愛を受けることで、自己肯定感が育つとされている。入所してくる子供たちは、人として育つために不可欠な無償の愛を心にしみ込ませることなく、不安な心を持って育つ。心が痛むところだ。そのため、学習習慣が体得できない、不安から進学を諦めてしまうなどのケースもある。結果として、貧困の連鎖を生む可能性も生まれている。

私は、児童養護施設いわつきを訪問したことがある。職員の方々から、一人でも多くの子供たちに、大学などに進学して将来の夢に向かって前進してもらいたい、子供たちに早い時期から勉強に取り組むことを促すなど努力を傾けているという話を伺った。頭が下がった。

また、県には、施設を築立ち、大学などへ進学した子供たちに住居を提供し、社会福祉上が日々生活相談に応じる知事肝いりの「希望の家」事業がある。この児童養護施設の退所者を温かくフォローする取組は、平成29年12月に全国知事会から優秀施策として表彰され、高い評価を受けた。

しかしながら、埼玉県児童養護施設

設の子供の大学進学率は28%、一般世帯の74%に比べ極めて低い状況。どんな子供にも等しくチャンスがある社会を生む取組は重要なこと。

子供たちの大学進学への受入れを後押ししようという門戸を広げた大学側の動きが少し目立ってきた。立教大学コミュニケーション福祉学部では、2015年度から入学合格者の中で施設出身者の4年間の学費を無料にし、年間80万円の奨学金を給付。1年置いて、2017年度から早稲田大学では全学部を対象に4年間の学費を無料にし、月額9万円の奨学金を給付。2018年度から青山学院大学では、施設出身者に限定した推薦入学制度を学部にかかわらず設けた特徴的な制度を実施した。合格者は4年間の学費を無料にし、月額10万円の奨学金を給付。このように、施設で暮らす子供たちの大学進学への扉を広げる動きが加速している。青山学院大学の三木義一学長は、「全国の大学が養護施設出身者を一人ずつ受け入れれば、600人の子供の未来が広がる。日本の大学が丸とあって取り組んでいくことが理想」と話している。

「小、中学校の義務教育の期間は何かかなるが、高校、大学を考えると、経済の問題が課題」との関係者の意見もあらずけるところだ。県立大学でこ

ういった取組が可能か。埼玉県自らが、**県立大学において児童養護施設の子供たちに高等教育の機会を提供していくことは重要な取組と考える**。児童養護施設出身者の進学支援を充実させるため、この大学の設置者である知事に見解を聞く。

知事答弁 児童養護施設の子供たちに対し、進学支援に力を入れることは子供たちの将来の選択肢を広げるためにも極めて大切な御提案だ。

県立大学に児童養護施設出身者に限った推薦入試を導入するなどの議員の御提案は、大学などへの進学支援を必要とする子供たちに光を当てるという視点からビッグアイデアだ。

導入に当たっては公立大学法人である県立大学の自主性を尊重する必要がある。こういった議論があったことをしっかりと県立大学にお伝えし、検討して頂きたい。

今後、児童養護施設の出身者が自ら希望する進路を選択できるようサポートさせていただきたい。

解説 質問後直ちに県立大へ検討を依頼。令和2年から、高校推薦枠の特例が創設された。

高等学校長による推薦の上限人数(表参照)に特例を設け、学科・専攻を問わず、5人の児童養護施設等出身

者などを加えることとなった。受験機会の拡大が目的であり、選考は他の出願者と区別しない。(成績要件の緩和はない)とされたが、画期的な方針だ。

対象者は、児童養護施設出身者のほか、里親家庭や生活保護世帯の子供など。



児童養護施設いわつき

▼高校推薦枠の特例

学科(専攻)	推薦上限
看護学科	8人
理学療法学科	4人
作業療法学科	4人
社会福祉子ども学科(社会福祉専攻)	4人
(福祉子ども学専攻)	2人
健康開発学科(健康行動科学専攻)	4人
(検査技術科学専攻)	4人
(口腔保健科学専攻)	4人

実現!

(平成31年3月質問)

▼まず、Aの欄に、2020年の文部科学省学校基本調査による都道府県ごとの国公立中学校・高校における「外国人生徒の在籍数」及び「中学／高校の割合」を掲載しました。私立高校の在籍数も掲載しました。私立高校は留学生の数が多く地域もあります。A～Fは、全日制と定時制に分けた、外国人生徒、中国・サハラ以南帰国生徒、海外帰国生徒、それぞれの「措置」や「枠」が設けられているか、またその内容について表にまとめました。表中の○…有、×…無、△…その他を示します。

「都道府県立高校における外国人生徒・中国帰国生徒等に対する2022年高校入試の概要」より

自治体名	I. 2022年入学選抜全日制高校について												II. 2022年入学選抜定時制高校について												
	2020外国人中・高校生(在籍数)				A.外国人生徒				B.中国・サハラ以南帰国生徒				C.海外帰国生徒				D.外国人生徒			E.中国・サハラ以南帰国生徒			F.海外帰国生徒		
	中学	高校	割合	措置	枠	条件	措置	枠	措置	枠	措置	枠	措置	枠	措置	枠	措置	枠	措置	枠	措置	枠			
茨城県	860	407	47%	○	○	定員外	○	△	△	定員外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
栃木県	509	83	16%	○	×		—	△	×	—	×	—	×	—	×	—	×	—	×	—	×	—	×		
群馬県	960	450	47%	○	×		—	○	×	—	×	—	×	—	×	—	×	—	×	—	×	—	×		
埼玉県	2,085	323	15%	×	○	定員内	×	×	×	○	定員内	×	×	○	定員内	×	×	×	×	×	×	×	×		
千葉県	1,631	107	7%	○	○	定員内	×	○	○	定員内	×	○	○	○	定員内	×	○	○	○	○	×	×	×		
東京都	3,803	1,477	39%	○	○	定員外	○	○	○	定員外	○	○	○	○	定員外	○	○	○	○	○	×	×	×		
神奈川県	2,462	1,604	65%	○	○	定員外	○	○	△	定員外	○	○	○	○	定員外	○	○	△	定員外	○	○	×	×		

(平成31年4月質問)

一石を投じる 平成26年3月18日(予算特別委員会)

埼玉県立浦和図書館跡地 次の役割を持たせよ



今はもうない「県立浦和図書館」の内部

「明るい声響く広場」建設

書館は登場する。昭和35年完成の浦和図書館は県都浦和の強烈な思い出の建物でもある。ル・ゴルビジェという建築家、フランク・ロイド・ライトやミース・ファン・デル・ローエとともに近代建築家の3大巨匠だ。この3大巨匠のゴルビジェの本での数少ない、愛弟子と言われる前川國男さんが埼玉会館を設計した。

彼が建設した施設はかなりある。東京文化会館、紀伊国屋ビルディング、京都美術館、東京都美術館など、我が国が誇る建築作品群だ。

前川國男さんは、エスプラナードという空間認識を人が悪いを持ちながら目的もなく歩く中庭的広場、散歩道といろいろな著書で書いている。囲まれている、自分がプロテクトされて、そこを回遊している感じとも説明をしている。そして、このエスプラナードのイメージは、巨匠ゴルビジェから教わったと伝えられている。

埼玉会館は、入り口部分の上に庭を造り、そして県立浦和図書館でプロテクトされてこのエスプラナードが完結している。県立図書館は昭和35年に完成し、埼玉

会館は41年に完成している。県立図書館を設計した人は県の職員さんだが、その立場から、埼玉会館にどんな素晴らしいものが建つか想像していたはず。だから、連結部分が2階になっている。そしてまた埼玉会館建築者の前川國男さんも、図書館を取り込んで設計をしたはずだ。この浦和図書館の蔵書数は49万6480冊。

入館者数の推移は、20年前25万7640人だったのに、現在は15万6007人。県立3館の中でも来館者数の下落度が極めて高い。これは、当然さいたま市の図書館の整備状況とリンクしている。さいたま市立図書館の蔵書冊数は334万冊。浦和図書館の蔵書数は49万冊。埼玉県立図書館の3館を合わせても151万冊。かなわない。

建築当時の昭和33年には驚くべきことだが、地元浦和市には図書館がなかった。資料をひもとくと、県立図書館のサービに依存したいという浦和市の意思があり、建築費の2割を出してもらっていた。

昭和35年完成の浦和図書館は、多くの県民の皆さんの知的欲求に応え、多く

のドラマを作り、県都浦和の強烈な思い出のある建物でもあった。この跡地には、別の切り口で次の役割を持たせることはできないか。新しい生命を与え、新しい鼓動を呼び起こす発想がないか。

解説 貴重な前川建築である埼玉会館の価値を十分に高め、県民のみならずが親しみ憩える、また浦和区という地域の文化的風合いを高める広場が、平成31年度整備された。エスプラナードの延伸上に広場ができる形となった。



県民が楽しめる広場が完成した。子どもたちの歓声があがる。(浦和区高砂)

一石を投じる 平成21年12月8日(一般質問)

そろばんは、世界でも突出した最高速外部記憶装置 学校現場などで、そろばんの充実を進めよ



あさのめ質問 埼玉県はそろばんの盛んなところだ。毎年12月下旬に埼玉県さいたま市で開催され、全国はもとより全世界から参加者を集める「クリスマススカップ」は、今1000人を超える規模になっている。

他の全国大会は、主催する珠算連盟に登録し、都道府県予選を通過したり、検定試験の取得段位の基準を越えたりしなければ、本選に出場はできないが、このクリスマススカップは出場資格がなく、そろばんをたしなんでいるなら誰でも出場できる。そのため、参加人数は年々増加し、現在では日本一規模の大きい全国珠算競技大会になった。

そしてまた、タウンページによれば、県内の珠算そろばん教室は164軒、神奈川県142軒や千葉の132軒、兵庫の105軒に比べ、相対的に多くの教室が存在している。

日本の絵画で、初めてそろばんの絵が出てくるものは、実は埼玉県川越の喜多院にある職人尽絵だそう。狩野吉信作、両替屋が大そろばんをはじいているものが描かれている。

作者の分かるものでは日本最古のもの、国の重要指定文化財だ。子供たちの計算能力の危機的な低下が叫ばれている中で、特に小学校低学年の時期にそろばんはその計算能力の基礎を築き、**将来の数学学習の効果を驚異的に高める現実がある。**そろばんは、作りは実に単純で簡単だが、計算の過程を目で追うことができるほか、練習を重ねることによって常に頭の中にそろばんを思い浮かべながら計算ができる。電卓よりも、はるかに計算処理能力において優れている。

朝日新聞は、かつて「計算の60年」なる特集を組み、「そろばんで鍛えた日本の力」などの記事を載せていた。高度経済成長を牽引してきたツールであると断言できるかもしれない。

次期小学校学習指導要領では、算数科にそろばんを第三学年だけではなく、第四学年にも入り、複数年で指導されることになる。そろばん教育を通じて、子供たちの健全な成長に大いに役立てることができないかと思う。



一石を投じる 平成25年6月17日(一般質問)

県公立高入試このままではダメ 選択問題つくれ

あさのめ質問 平成24年度の埼玉県公立高校入試の平均点が発表された。5教科計500点の平均点は275.5点。正答率55.1%。

各科平均点は、国語65.6、社会49.0、理科48.7、英語44.1、数学36.5。この年も平均点の一番高い国語との差は、奇しくもまた23.2点だった。毎年、数学の平均点だけが極端に低い。しかし、近隣の東京、神奈川、群馬などでも数学の平均点だけ極端に低いところはない。また、全国学力・学習状況調査で埼玉県と順位の近い岡山や鹿児島でも、この傾向は見られない。全国でも稀で不思議な例。

驚くべきことだが、正答率0.4%とい

う問題もある。この問題は、百分の一抽出データで正答者2人。百倍して元に戻すと、たった200人の正答者だということだ。受験者は4万6千人だ。さらに、無答率69.5%という問題もある。約7割の生徒が無答、つまり手も足も出なかった。

入試試験とは何だろうか。受験総数約4万6千人で、正答者200人の問題、7割の生徒が筆も入れられない問題。県立高入試問題としてふさわしいのかと考えさせられる。

よく調べてみると、県教委の作問者が、これくらいは点を取ってほしいと期待した予想平均点、これさえも大幅に下回っていることが分かる。国語の予想点62点に対して実際は59.7点だったのは想定誤差範囲内にせよ、数学予想点50点に対して実際は36.5点で、13.5点も下方にズレていた。大きな見込み違いでまったくの想定外だったはず。よって、県教委はもっと正答者があっていいと思ったことは容易に、そして確実に推察できる。県教委は、若干自責の念を駆られてはいるかもしれない。

朝日新聞

入試の数学 難し過ぎ?

公立高の問題 低い平均点 続き論争 真の学力見たい 正確に測れない

入試問題に挑戦 2012年3月実施の「数学」問題より

(問) 右の図で直線は関数 $y = ax + 2$ のグラフであり、曲線は $y = x^2$ のグラフがそれぞれ $x = 5$ 、 $x = 5$ の点A、Bを通ります。点Aを通り傾きがこの曲線の式の係数と同じ a である直線と、この曲線との交点をDとします。点Bから直線ADへの垂線を引いた際の交点をCとしたとき、点Cの座標は正であり、△ABCの面積が $2\sqrt{2}$ となりました。このとき、次の各問に答えなさい。ただし、 $a > 0$ とし、座標軸の長さ1cmとします。

(1) aの値を求めなさい。
(2) 線分CDの長さを求めなさい。

正答率
(1) 10.1%
(2) 10.4%

できる子もいる。できない子もいる。問題作成上の課題なのか、それとも中学

学力検査問題の数学の正答率

入試	大問	小問	正答率(%)
平成23年度入試(後期)	第4問	(1)	0.0
平成23年度入試	第3問	(2)	0.4
平成23年度入試	第3問	(2)	0.8
平成23年度入試	第4問	(2)	0.8
平成23年度入試	第4問	(3)	0.8

教育長答弁 数学の平均点は、24年度入試は36.5点、25年度は42.4点に上昇。これは、中学校で指導が浸透してきた結果。

公立難関進学校は、自校作成問題入試に踏み切るべき。学力のみならず、高度な展開力などいわば個性的な学力を発見することが可能だ。公立難関進学校の選択問題ならば同一問題よりも難易度が高くてもかまわないと思う。

一石を投じる 平成28年3月16日(予算特別委員会)

県立高校入試英語だけのふたごぶをなくせ

あさのめ質問 私の要求などで平成29年から、埼玉県立高校等の入試改善が実施される。課題があったから改善される訳だ。いくつかの課題の重要な一つに「英語入試結果が正規分布の形が現れず、ふたごぶになっている」というものがあった。

教育長答弁 平成22年から確認できる。ただ、以前からあったと推測できる。

教育長答弁 つまづきがあるから、この形になっている。指導法の工夫が必要。

解説 高校入試の英語の得点分布では、平成29年3月に実施した学力検査では平成26年3月に実施した学力検査よりも、下位層の減少が確認できた。

質問1 このふたごぶは、いつごろから認識されていたのか?

質問2 試験結果が、正規分布の形で描かれていれば、理論上は山のトップが平均値になる。この形は、子供の学力の平均がイメージできる。

質問3 頭在化という認識はあるか?

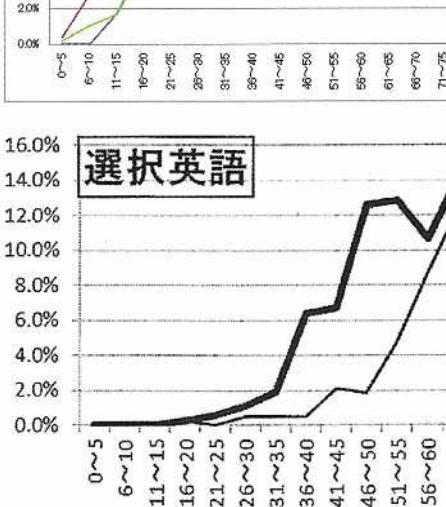
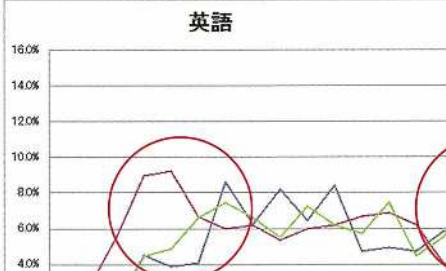
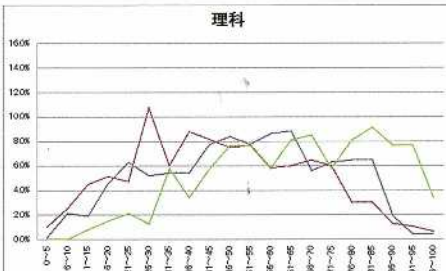
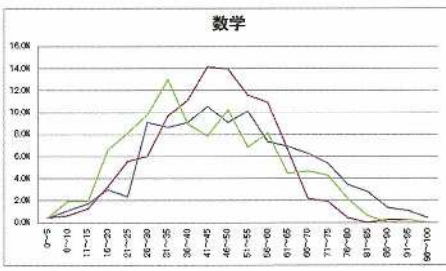
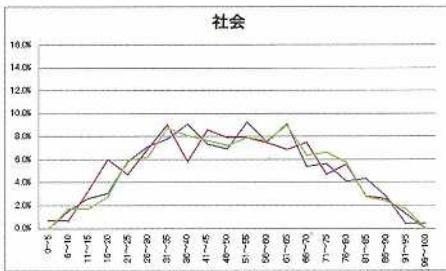
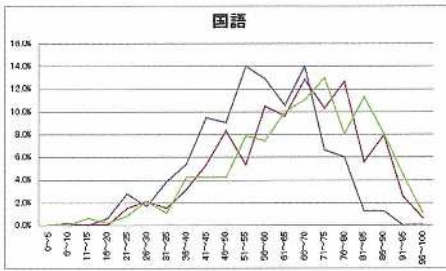
質問4 他府県はないか?

質問5 ふたごぶを解消にはどうしたらよいのか?

質問6 今まで綿密で総合的な調査をせず、中3最後に至り、入試で学力格差の顕在化が確認できるのは、皮肉なことだ。

質問7 平成26年の英語の最初のふたごぶは、11、24点だ。この子たちは可哀想。打つ手はなかったか。未来へのチャンスが失われたはずだ。

教育長答弁 分析し、どういう指導法が効果あるかの情報集め、子供たちの学力を伸ばしていきたい。



▼緑のトラスト協会保全第1号地



ため、県の見沼田圃基金を活用する方針を決定した。両市が斜面林を公有地化する際には、土地購入費の3分の1にこの基金を充てることとし、**県予算案に9200万円を投下する。**

埼玉県のみどりを守るという、知事の前向きな姿勢を高く評価している。この問題について質したい。将来に禍根を残さないために、斜面林の保全には公有地化による対応が、是非とも緊急に必要と思うが、県、さいたま市、川口市で構成する連携会議の検討内容を踏まえ、実効性ある保全策をどう進めようとするのか、答弁がほしい。

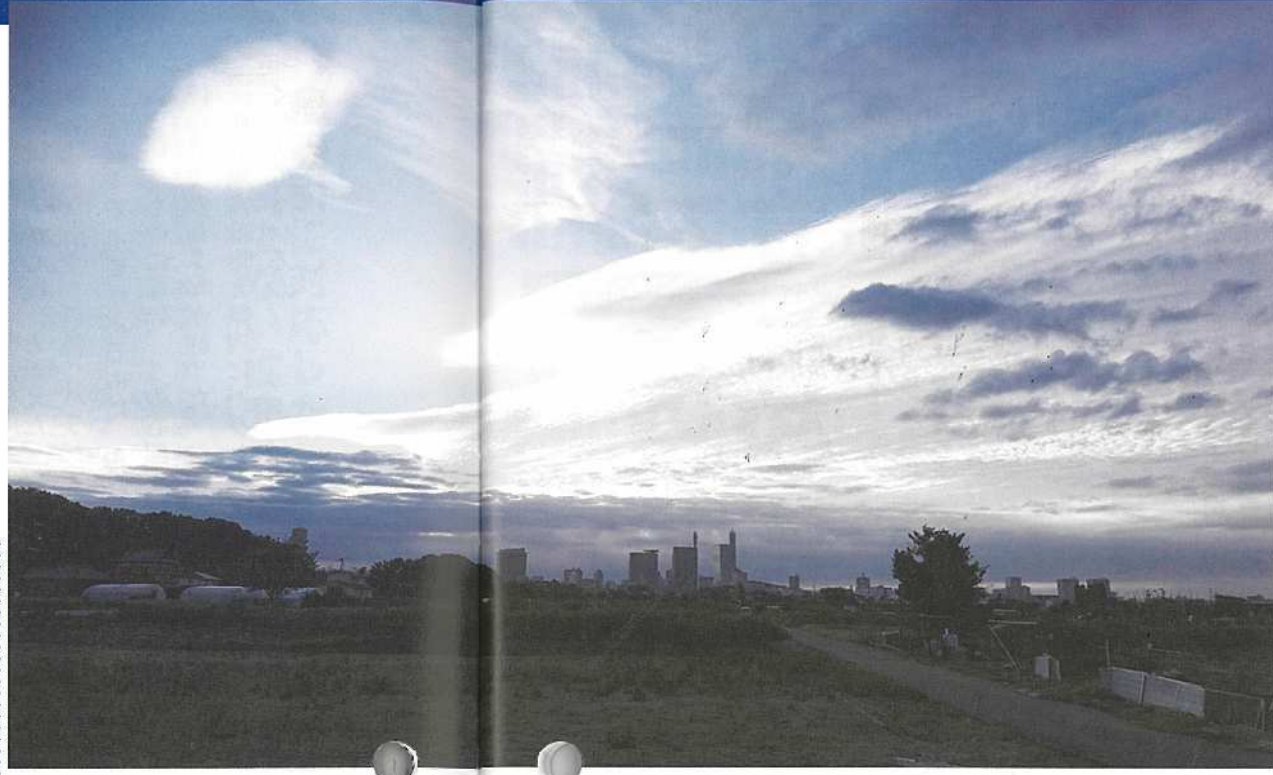
老朽化した交差点信号制御機、交通標識柱、信号柱 一刻も早く更新を

あさのめ質問 信号機の赤、青、黄の点灯をコントロールする信号制御機や信号を支えている信号柱の老朽化が進んでいる。平成28年度末で全国の信号機約21万基のうち、2割に当たる約4万5000基が更新時間を過ぎたまま放置されている。埼玉県内の状況はどうか。信号機が消えたり点滅を続けたたりして機能を果たせなければ、大変な事態を生む。県民の命を守るため、警察本部長へ以下3点質問する。

- ①、これまで信号制御機の故障や倒壊などの事故で交差点内の安全が損なわれたことはあるか。心配のあるところだ。
- ②、信号制御機の更新またLED化が進められているが、その進捗状況と併せて今後の計画をお示しいただきたい。
- ③、今後、信号柱の交換計画についても答弁欲しい。

警察本部長答弁 ①、埼玉県内で過去に信号制御機の故障や信号柱の倒壊による交通事故の発生はない。保守点検作業中にコンクリート製信号柱が倒壊し、作業員の方1名が転落し亡くなる事故が平成19年10月に三芳町で発生した。

- ②、埼玉県内には、平成29年度末で1万303基の信号制御機がある。耐用年数は御指摘の通り19年。超えているものが2563基、全体の24.9%。25年を経過も365基。御指摘の通り、迅速かつ効率的な更新が必要。警察は、老朽化の著しいものから更新作業を推進していく。平成31年度は431基分を予算計上した。平成39年度末を目途に25年を経過する制御機を、平成48年度末を目途に19年を超える制御機を、全て更新に取り組み。LED化も、平成31年度に車両用灯器1676灯分を予算計上した。平成37年度末を目途に全てLEDにする。
- ③、埼玉県内に、平成29年度末で4万



見沼田んぼからさいたま新都心を望む (浦和区木崎)

▼錆だらけで倒壊の恐れがあった交通標識柱が撤去された。(浦和区針ヶ谷2丁目の大原陸橋東交差点)



あさのめ質問 信号機の赤、青、黄の点灯をコントロールする信号制御機や信号を支えている信号柱の老朽化が進んでいる。平成28年度末で全国の信号機約21万基のうち、2割に当たる約4万5000基が更新時間を過ぎたまま放置されている。埼玉県内の状況はどうか。信号機が消えたり点滅を続けたたりして機能を果たせなければ、大変な事態を生む。県民の命を守るため、警察本部長へ以下3点質問する。

- ①、これまで信号制御機の故障や倒壊などの事故で交差点内の安全が損なわれたことはあるか。心配のあるところだ。
- ②、信号制御機の更新またLED化が進められているが、その進捗状況と併せて今後の計画をお示しいただきたい。
- ③、今後、信号柱の交換計画についても答弁欲しい。

警察本部長答弁 ①、埼玉県内で過去に信号制御機の故障や信号柱の倒壊による交通事故の発生はない。保守点検作業中にコンクリート製信号柱が倒壊し、作業員の方1名が転落し亡くなる事故が平成19年10月に三芳町で発生した。

- ②、埼玉県内には、平成29年度末で1万303基の信号制御機がある。耐用年数は御指摘の通り19年。超えているものが2563基、全体の24.9%。25年を経過も365基。御指摘の通り、迅速かつ効率的な更新が必要。警察は、老朽化の著しいものから更新作業を推進していく。平成31年度は431基分を予算計上した。平成39年度末を目途に25年を経過する制御機を、平成48年度末を目途に19年を超える制御機を、全て更新に取り組み。LED化も、平成31年度に車両用灯器1676灯分を予算計上した。平成37年度末を目途に全てLEDにする。
- ③、埼玉県内に、平成29年度末で4万

一石を投じる 平成31年2月25日 (代表質問)

見沼田んぼ斜面林の公有地化 急ぎ進めよ

9200万円の予算獲得

あさのめ質問 見沼田んぼは、都心から20〜30キロメートルに位置し約1260ヘクタールという広大な面積を持つ大規模緑地空間だ。もはや首都圏では数少ない貴重な貴重なものと言える。このゾーンは、自然の宝庫であり、春には見沼代用水沿いで桜や菜の花を楽しむことができる。秋には彼岸花などの

花々を愛でることが出来る。また野生の鳥類など多様な生き物の生息地となっている。四季を通じて、多くの方々を訪れ、自然との触れ合いを楽しまれている。こういった生態系が広がるからこそ、広大な田や畑の中を流れる芝川、加田屋川、見沼代用水と斜面林が一体となった独自の美しい田園風景を見ることが出来る。また、この大規模緑地空間は、南風に乗ってやってくる熱気流などによって引き起こされるヒートアイランド現象の緩和の役割を果たしていることも見逃すことができない。

て欠かせないものであり、人々にうるおいと安らぎを与えている。私は昨年の代表質問で、市民団体の方々が、平成28年10月から11月にかけて見沼田んぼ地域の斜面林114か所の現地調査を丁寧に行い、平成23年3月に埼玉県が発行した「見沼田んぼガイドマップ」で樹林地(斜面林等)とされている箇所と比較した調査結果を、この場で報告した。



春は桜の花



秋は彼岸花

このように多様な重要な価値をもった見沼田んぼだが、その中でも、見沼田んぼ地域の斜面林は「見沼田んぼの保全・活用・創造のための基本方針」にもあるとおり、田園風景の重要な構成要素として

「約5年間で斜面林が14箇所、5万6357㎡が消失してしまつた。残る斜面林は100箇所、53万7166㎡となつてしまつていて、10.5%にも及ぶ斜面林が消失してしまつたことになる。危機に瀕する斜面林の状況を認識することが出来る。また、消失消滅斜面林は、市街化区域よりも市街化調整区域での資材置場、墓地などに開発される度合いが高く、残念なことに、見沼田んぼを取り巻く景観の美しさが損なわれつつある」。私は、見沼田んぼの低地地域と周辺台地の縁にある斜面林が危機的な状況にあることを説明し、知事に保全対策の必要性について強く訴えた。知事からは昨年、「県、さいたま市、川口市で構成する連携会議において、保全策を早急に取りまとめ実効性のある対策を行う必要があると考える」との答弁があつた。

閑話休題
この質問が、鹿児島県議会議員に丸パクリされる事件が起き、ニュース番組で放映された。

5:49

会報は自分の手で筆を執って思いを書いて

そして、嵐道のごもった議会質問をやっていたらいい

一石を投じる 令和3年10月4日（一般質問） 喀痰吸引を必要とする人 不利益にするな

痰吸引の研修場所 バランスよく 拡大しているか

あさのめ質問 障害者介護で特に注

意する介助の一つに痰吸引がある。痰が気道内に貯留していると呼吸困難、窒息など、命に関わる問題になる。医療的ケアが必要な重症心身障害児・者の方、またALSの患者さんなどが安心した在宅生活を続けていくには、不可欠なものだ。介護職員でも法の一部改正で平成24年4月から、一定の条件の下で行うが可能となった。併い、介護職員には研修が必要となった。

私は、平成26年12月、この本会議場で、「介助者不足に拍車がかかるのではないかと心配」と訴えた。研修機関はより増やす必要、バランスよく配置する必要があるのに、現状、満足いくものがない。この心配を投げかけてから7年経った。

福祉部長答弁 痰吸引の登録研修機関数は平成26年度12か所から、令和3年9月1日現在34か所と拡大している。

地域別では、東部が2か所から3か所、西部が2か所から7か所、南部が8か所から15か所、北部にはなかったが、現在2か所に増えた。その他、研修機関への通いではなく、施設等に講師を派遣して研修を行う機関も新たに7か所増え、地域のバランスもとれてきている。

受講定員は、平成26年度の708名。令和2年度は1501名と倍増している。

高額な第三号研修の 助成金充実させよ

あさのめ質問 特定の利用者に対し

て、特定の喀痰吸引などの医療行為を実施することができるとする介護職員を養成する第三号研修について、高額な研修費用の助成制度に市町村へ働き掛けをしてほしいなどの提案を当

時している。充実してきているのか。

福祉部長答弁 医療的ケアが必要な児童が通う障害児通所支援事業所が不足しており、事業所を増やす必要がある。

そのため令和元年度から研修費用の助成を開始した。令和3年度は、事業所の職員を対象に事業所が痰吸引等研修を受講させる場合、職員1人当たり5万円を上限に助成している。

さらに、18歳以上の医療的ケアが必要な障害者も増加しており、障害者団体から、事業所職員も研修の助成を受けられるようにとの御要望があった。

令和3年度からは、助成対象を障害者の通所サービスの生活介護事業所まで拡大した。

痰吸引に対応した 職員少ない拡充せよ

あさのめ質問 実態を明らかにする

必要こそ大切。登録機関の数は充実されたが、その実態が不安な内容では、利用者にとり困ったことだ。

こういうことだ。登録されている重度訪問介護事業所一覧を見て連絡をしても、登録しているだけで、実態は、重度訪問介護事業所の営業はしていない。また、営業していても、痰吸引に対応しない事業所がほとんど。部長、こんな不条理なことはあつていいのかと思う。痰吸引可能な施設を一生懸命探しても、それがなかなかかなわない。命と希望に関わることだ。吸引できる人を増やしてほしい、そのことを私は強く思う。

福祉部長答弁 議員から痰吸引に対応している重度訪問介護事業所が少なく、非常に困惑している方がいらっしゃるからお話を頂いた。

痰吸引を必要とする障害者の不安を取り除くため、同事業所に対し、所属職員に研修を受講させるよう働きかけ、**喀痰吸引に対応できる事業所の拡充を図っていく。**

痰吸引必要とする人、 不利益にするな

あさのめ質問 人数はちゃんとそ

ろっているか、バランスよくなっていくのか、そしてこの経費については補助ができるのかなど、様々な問いかけをしてきた。

埼玉県福祉行政のトップとして、**痰吸引を必要としている人が不利益にならないように。その一言を**

福祉部長答弁 痰吸引を必要とする方が、**困ることなく、そして不利益になることなく、地域で安心して暮らし**

ていけるような環境を整えていくことが何よりも重要。
痰吸引に対応できる事業所の拡充、介護福祉士実務者研修を修了している方への周知による、痰吸引に対応できる人材の養成など、積極的に取り組む。



当事者の方が、私の質問を傍聴に来て下さった。(埼玉県議会議事堂)



▲喀痰吸引の研修の様子(写真提供・吉川福祉専門学校)

2018年 平成30年

11月22日（木曜日）／ロイヤルパインズホテル浦和4階
第16回あさのめ県政報告会 埼玉県議会議員 浅野目義英



2019年 令和元年

7月28日（日曜日）／埼玉会館3階
第17回あさのめ県政報告会 埼玉県議会議員 浅野目義英



2019年 令和元年

11月22日（金曜日）／ロイヤルパインズホテル浦和4階
第18回あさのめ県政報告会 埼玉県議会議員 浅野目義英



2020年 令和2年

11月22日（日曜日）／ロイヤルパインズホテル浦和4階
第13回文化フォーラム&第19回あさのめ県政報告会
講師・参議院議員 上田清司氏、埼玉県議会議員 浅野目義英



2022年 令和4年

6月21日（火曜日）／埼玉会館
第20回あさのめ県政報告会 埼玉県議会議員 浅野目義英



2023年 令和5年

予定

絶対負けられない
戦いが近づいています。
是非、お出まし
下さいませ。

11月25日（金曜日）15:00～／埼玉会館（予定をしております。）
第21回あさのめ県政報告会 埼玉県議会議員 浅野目義英

「議会報告は議員としての当り前の責務」と考え、
初当選以来毎年、みなさんにお集まりいただき
「あさのめ県政報告会」を開かせて頂いてまいりました。

2015年 平成27年

11月22日（日曜日）／ロイヤルパインズホテル浦和4階
第10回文化フォーラム&第11回あさのめ県政報告会
講師・参議院議員 大野元裕氏、埼玉県議会議員 浅野目義英



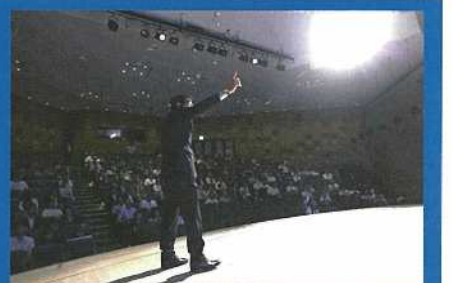
2016年 平成28年

11月22日（火曜日）／ロイヤルパインズホテル浦和4階
第11回文化フォーラム&第12回あさのめ県政報告会
講師・政治評論家 篠原文也氏、埼玉県議会議員 浅野目義英



2017年 平成29年

6月2日（金曜日）／埼玉会館
第13回あさのめ県政報告会 埼玉県議会議員 浅野目義英



2017年 平成29年

11月22日（水曜日）／ロイヤルパインズホテル浦和4階
第14回あさのめ県政報告会 埼玉県議会議員 浅野目義英



2018年 平成30年

6月9日（土曜日）／埼玉会館
第15回あさのめ県政報告会 埼玉県議会議員 浅野目義英



感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2018.01 vol.48

平成28(2016)年度埼玉県当初予算成立

一般計4,805億円 補正予算44億7,000万円

約52億 埼玉会館の改装

上田県政最大規模 1兆8805億円

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2018.01 vol.48

県立高入試英語先行のふたごをなす

県民が主役を貫く

埼玉県議会9月定例会ご報告

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2018.01 vol.48

補正予算5億円が成立

統一地方選挙、トップ当選 あさのめが目玉スタートした

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2018.01 vol.48

文化フォーラムへの誘い

2015年 11月22日(日) 18時~20時45分

浦和ロイヤルバインズホテル 4階ロイヤルクラウン

10000円 (税別)

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2014.09.10 vol.39

県議会 自民が上田知事にぶつける不毛なバトル

一方で「議会改革」進まず

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2013.09.23 vol.35

県政報告会 & 文化フォーラムへの誘い

日 平成26年11月22日(土) 18時~20時45分

浦和ロイヤルバインズホテル 4階 10,000円(税別)

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2013.09.23 vol.35

ひと皮むけば自分勝手 県議員給与を6%削減したのに 県議報酬10%削減は否決

良識が問われている

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2013.09.23 vol.35

入試の数学 誰し過ぎ?

石を投げる

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2017.07.14 vol.52

命を守るため ホームドアを急ぎ設置を

ホームドア設置は、わずか10駅のみ

ム牛出しの危険「欄干のない橋」

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2017.07.14 vol.52

補正予算5億295万円が成立

今年(平成28年)もお話になりました

大変

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2017.07.14 vol.52

埼玉県 小児医療センターオープン

施設から5年 小児医療センターオープン

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2016.09.24 vol.50

埼玉の明日 訴える

連続 6月 定例会 訴える

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2016.11.20 vol.51

先導産業創造プロジェクト 「マグネシウム蓄電池」世界初の実用化へ

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2016.09.24 vol.50

今年(平成28年)もお話になりました

大変

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2016.09.24 vol.50

補正予算5億295万円が成立

今年(平成28年)もお話になりました

大変

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2016.09.24 vol.50

第12回 あさのめ県政報告会 & 文化フォーラムへの誘い

2016年 11月22日(火) 18時~20時15分

浦和ロイヤルバインズホテル 4階ロイヤルクラウン

10000円 (税別)

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2017.11.13 vol.57

9月定例会 補正予算44億7,000万円成立

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2017.08.02 vol.56

700万は未返済!!

自民県議政務活動費不正流用

自民県議 不正流用 700万円

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2017.08.02 vol.56

他党派にも公開要請

領収書添付を義務化

政治資金規程 基本原則

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2017.07.07 vol.55

ようやく 教育長決まる 驚愕の空白80日

80日間不在

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2017.07.07 vol.55

問われる 解説 自民政の無責任 異常な事態 内外で語られた 教育長不在

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2017.07.07 vol.55

平成29(2017)年度埼玉県当初予算成立

2兆7371億円 未来への投資

一般計1兆8644億円

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2017.07.07 vol.55

平成29(2017)年度埼玉県当初予算成立

2兆7371億円 未来への投資

一般計1兆8644億円

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2017.07.07 vol.55

人の輪の中へ

県民の輪の中へ

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2018.01 vol.62

平成29年度埼玉県決算発表

自民 執拗に不毛なバトル

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2018.01 vol.62

第11回文化フォーラム

あさのめ 県政報告会 & 初冬の会(懇親会)

2018年 11月22日(木)

浦和ロイヤルバインズホテル 10,000円

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2018.01 vol.62

平成29年度埼玉県決算発表

特集号

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2018.01 vol.62

平成29年度埼玉県決算発表

特集号

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2018.03.28 vol.60

平成30年度(2018)埼玉県予算成立

県政報告会

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2018.03.28 vol.60

平成30年度(2018)埼玉県予算成立

県政報告会

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2018.03.28 vol.60

平成30年2月定例会が始まる

2月20日から、1兆8千億の予算規模

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2018.03.28 vol.60

平成30年2月定例会が始まる

2月20日から、1兆8千億の予算規模



あさのめ事務所
 〒330-0074
 さいたま市浦和区北浦和2-3-2
 TEL 048-762-7133 FAX 048-762-7144
 urawajimu@asanome.com
 www.asanome.com

昭和33年(1958年)5月27日東京生まれ。
 山形県米沢市育ち。
 法政大学社会学部卒。小学校教員を経る。
 隣接の上尾市で全国最年少25歳で
 市議初当選。市議4期(25~41歳)。
 37歳で全国最年少議長。
 上尾市長選挙次点敗退。
 予備校講師、鮎井屋でひたすら
 マグロを切る仕事、衆議院議員
 政策秘書など、政治浪人7年余を経て、
 平成19年埼玉県議会議員
 トップで初当選。以後、4期連続当選。

埼玉県議会議員
あさのめ
 浅野目義英



カンパのお願い (資金管理団体)

埼玉りそな銀行	あさのめ後援会	浦和中央支店	普通 5185838
三菱UFJ銀行	あさのめ後援会	浦和支店	普通 1337826
ゆうちょ銀行	あさのめ後援会	記号 10350	普通 28760311

発行者 浅野目義英
 印刷所 関東図書株式会社

参加申込書
24時間受付中

fax 048-762-7144

電話・メールでのご連絡もお待ちしております
事務所電話 048-762-7133

✉ urawajimu@asanome.com

日時

2022年
令和4年 11月25日(金)



開場 14時30分 開会 15時00分 閉会 16時30分

第21回

埼玉県議会議員浅野目 義英

あさのめ県政報告会

会場 埼玉会館 小ホール

●さいたま市浦和区高砂3丁目1-4

会費 無料 お身体ひとつでお出ましく下さい。

絶対に負けれない戦いが近づいています!
投票によって与えていただいた任期中に活動した内容について、みなさまへご報告をさせていただきます。

コロナウイルス感染症予防

適切な感染防止の措置を講じて注意を図りながら開催させて頂く所存です。
30分に1回の換気休憩をします。お隣と1.5mの距離をとります。

いずれかを○でおかこみください。

ご出席 ・ ご欠席

お申し込みフォーム

ご芳名		ご同伴者	
ご住所			
TEL		FAX	
おひとこと			

お問合せ・お申し込み先

埼玉県議会 浅野目義英 (あさのめ事務所)
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和2-3-2
TEL 048-762-7133 FAX 048-762-7144
e-mail: urawajimu@asanome.com
www.asanome.com  浅野目義英【埼玉県議会議員浅野目義英】



あさのめ新聞



無所属

浅野昌義

埼玉県議会活動報告 2023.2月号

発行

埼玉県議会議員 あさのめ事務所
〒330-0074
さいたま市浦和区北浦和 2-3-2

埼玉の課題がコロナ禍で顕在化

新型コロナウイルスは、日本や世界の風景を急速に変えてしまいました。あまりにも多く存在する課題ですが、今何が起きているのか、コロナ禍後の社会はどうなるのかを見つめなければなりません。そのためには、コロナ禍が気づかせてくれた課題を期待されるイノベーションで、私たちは新しい社会像として創造しなければなりません。

コロナ禍を通じて顕在化した課題

コロナ禍の日常生活の長期にわたる変化に伴って、高齢者、障害者、子どもたちへの影響の課題。

- 高齢者の心と体の働きが弱くなっている、また認知の低下
- 障害者の交流機会が減少
- 親以外の大人との交流が減った子どもの生活
- 発達障害のある学生の生活リズムが一変
- 表情がみえにくいマスク生活、子どもの発達に悪影響
- マスク全体主義のまん延など

これまでは把握されていなかったが、コロナ禍で顕在化した新たな生活課題。

- ギリギリで生活できていた世帯の不安定な状態
- 上記のような世帯が抱えていた複合的な課題
- 親族の手助けが不可欠だった子育て家庭の実態
- 外国籍の居住者の生活実態
- 相談機関を知らなかったり、相談が苦手な人たちの多さの露呈
- ひきこもりなどの複合的な課題の表面化
- 出生率の減少=人口減少など

地域活動の担い手と今後の活動のあり方への影響

- 地域活動の停止による活動者のモチベーションの低下
- 町会等の交流行事の停止に伴う地縁関係や一体感の希薄化
- 日中、地域にいたり、地域に関心のある人は増えたのに既存の活動につながらない
- 中高校生のボランティア活動の機会の減少など

情報格差への対応

- デジタルスキルの世代間の差
- 外国籍居住者の言葉の課題
- テレワークの利用が所得格差に連動
- デジタル格差を通じて経済的格差の広がり
- デジタルは教育を進化させるが、格差も生むといった実態
- 情報格差が社会の分断を加速など

(東京都福祉保健局の資料などを中心に浅野昌義が作成)

浦和駅方面から伸びてきて中山道をクロスし国道17号へ至る田島大牧線は昨年三月に開通しました。県庁通りや周辺道路などの交通渋滞解消につながるものと歓迎されました。一方、岸町常盤線との交差点には、横断歩道と歩行者用信号がなく、岸町七丁目内外の方々から「安全のための施策を進めて欲しい」とのお声が届けられました。埼玉県警察本部の交通規制課また小柳嘉文市議とも協議を重ねました。

横断歩道の設置は12月19日に、押しボタン式信号機は同日13時に点灯され運用開始となりました。地域の安全性が高まりました。



浦和区岸町

横断する皆さんの安全性確保せよ
横断歩道、歩行者用信号機設置

「あの鉄柱は錆だらけで不安」「倒壊の恐れがある」など。針ヶ谷二丁目自治会の方々からお声が届けられました。埼玉県道路環境課との協議が進められ、錆だらけでポロポロになった交通標識柱が撤去されました。大原陸橋東側交差点に立っていたこの鉄柱。倒れたら大変なことになるどころでした。交通標識柱のみならず、県内には1万326基の信号制御機があります。耐用年数は約19年ですが、これを超えているものが3497基、設置後25年を経過しているものも699基残っています。一刻も早く撤去、新設される必要があります。



浦和区針ヶ谷

劣化した交通標識柱、信号制御機は危険
一刻も早く撤去、そして新設

未来社会
の実現

分身ロボット「オリヒメ」を、 けやき特別支援学校に複数台導入せよ

実現



20世紀を代表する思想家、ハイクは次のように語っている。

「体の弱い子供が、ある社会においては、他の社会よりも多く生き延びるチャンスを持つているかどうかは、その社会の構造に関わることだ。」

この言葉は、分身ロボット「オリヒメ」の存在意義と役割の背中を強く押ししている。



「オリヒメ」を使った授業風景（県立けやき特別支援学校）

を一体何台持っているのだろう、そう思い一生懸命、県庁の中を探した。たった1台だけ見つかった。写真を用意してきた。大変小さな鳥の形をしたロボットだ。この場所は、けやき特別支援学校の教室の中。1台だけあった。

余命の限られた難病の子供、重篤な病気や大けがで、治療を余儀なくされている子供が、小児医療センターに入院している。正に、体の弱い子供だ。同センターから併設されているけやき特別支援学校へ、学ぶために毎日通っている。しかし、治療のためにベッドから動けない、髪の毛が抜け落ちた姿形を誰にも見られたくない、こういった理由で、けやき特別支援学校に通えない子供たちも少なからずいる。ことを私たちは知るべきだ。教育の機会均等から外れがちな子供たちがいるということだ。

「オリヒメ」から授業に参加しているのは正に分身、もう1人の自分だから、学校の教室に置いておけば、リアルタイムで教室の様子が分かる。ベッドから先生の話を聞き、自分の発言をし、クラスメイトの声を聞き、手を振る、目を光らせるなど、自分の体のように動かすことができる。有名になったロボットだ。遠隔で意思疎通ができるなどの優位性が認められ、ベッドの上からでも、まるで教室にいるのと同じ感情の同期ができて、学習に取り組みむことができる。時代は、ここまで来たのだ。

もう1枚、写真を持ってきた。両脇にいたのが小児医療センターに入院中の子供だ。真ん中は、実はもうお亡くなりになった小児が治療中の女の子がこのロボットから授業に参加していた。授業の内容は、ヨーロッパ大陸は緯度が高いのになぜ温暖なのかという授業内容だろう。

な成果があったと認められ、文部科学省に報告されたと聞いている。

分身ロボットの意義は大きいことから、複数台整備する必要があり、私は思う。このことを強く求めたい。

このロボットの活用で、入院中の児童生徒のように授業に参加したり、クラスメイトとコミュニケーションをとることが可能となった。また、以前在籍していた学校に配置し、入院前のクラスメイトと交流し、円滑に復学する準備にも活用している。

小児がんなどの重篤な病気や大けがで入院を余儀なくされている児童生徒が在籍している特別支援学校で「オリヒメ」などのロボットを活用する教育的意義は大きい。



右・さいたま日赤病院 左・県立小児医療センター

埼玉県立けやき特別支援学校とは…
平成29年、埼玉県立小児医療センターは、さいたま日赤病院と合築新設された。同センターに入院している小中学生が、学習するための病弱特別支援学校。同センター7階に開設している。体調や治療に合わせて学習が進められ、注射などの治療が必要な場合や昼食時にはエレベーターで学校と病棟との間を効率よく行き来することができるようになっている。入院前と変わらず学校生活を送れるように、また退院後に元の学校へスムーズに復帰できるように、さまざまな配慮がされている。

用語解説

ALSなど重度身体障害の方の生きる力に活用せよ



ALSは、徐々に全身の筋力が弱くなる病気だ。自分で食事や呼吸ができなくなる。治療法は対症療法の延命治療、つまり気管切開の呼吸器装着しかない。装着しなければ死を意味するし、装着すれば生を手の中に入れることはできるけれども、絶え間のない絶望から離れることはできない。

患者さんは、埼玉県で535人、日本では約1万人。呼吸器をつければ生きられない、つけなければ生きられない。延命希望の方は2割。理由は先ほど話した通り。執行部の皆さん、呼吸器をつけるか。厳しい現実

を前に、私は肅然とさせられる。希望の光、就労の光、生きがいの光をどうやってつかさずることができるのだろうか、私はいつも思う。群馬県庁は総務部財産有効活用課が主導し、ALSなど重度障害の方が自宅等から「オリヒメ」を遠隔操作し、県庁32階のカフェのスタッフとして働いている。※下段写真参照

東京都港区は障害者福祉課が主導し、7月から、重度障害などで働くことが難しい方を対象に、区役所1階の福祉売店で、「オリヒメ」を使った就労機会の創出事業が始められている。

神奈川県庁でも、移動が困難なALSをはじめとした障害の方が「オリヒメ」を使った在宅勤務により、福祉ショップへの来訪者案内や声かけを実施した。



カフェで活躍する「オリヒメ」（群馬県庁32F）

我がが目指さなければならぬ未来社会は、重度身体障害者でも、難病でも、様々な理由で家から出られない人でも子供でも、存在や役割を得て、誰かに必要とされている、自分は人のためになっっている、自分は生きていくを自覚できている、自分を否定しなくなる社会ではないか。

通勤が難しくても、ベッドの上でも、在宅なら働ける。そういったALS患者さん、肢体不自由の方も多いため、移動が不可能でも、行きたい場所、行かなければならぬ場所に、この「オリヒメ」を置いて、その場にいるかのようなコミュニケーションが可能で、就

労の可能性が広がる。新しいテクノロジーを活用した、障害者の方々の絶望から脱却した社会参画、就労の支援を埼玉県として行うことで、共生社会の実現を図ることはできないか、新しいロールモデルを構築できないか、答弁を求めたい。

議員お話しし通り、重い障害があっても社会参加や就労につながることで、希望や生きがいを持つことができる。

それは、誰一人取り残さない社会の実現につながるものだ。県は、「オリヒメ」をデジタル技術を活用した障害者の社会参画促進の方策の一つとして研究していく。民間や他県の活用例を把握し、ロボット開発者、障害当事者、就労継続支援事業所、企業の方々の意見をお聞きし、県デジタルトランスフォーメーション推進計画を踏まえた具体



新しく設置が決まり、稼働しているオリヒメ「埼玉しごとセンター」（さいたま市南区のラムザタワー）

的な取組として、検討する。埼玉県しごとセンター（さいたま市南区ラムザタワー3階）は、埼玉県の就業支援と国の「就労活動」を全面的にサポートする施設。ここに、オリヒメが設置されることになった。ここで、利用者の方に、検温・手指消毒の御協力をお願い、利用目的に合わせた対応窓口の案内、セミナーや企業面接会の参加者に対して、開始前の連絡事項の説明などを行うとのことだ。



分身ロボット「OriHime」

吉藤健太郎氏（35）が学生時代に開発した遠隔でコミュニケーションができるロボット。カメラ、マイク、スピーカーが搭載されている。な名称で呼ばれるが、ここでは「オリヒメ」と統一した。医療、教育、テレワークなどで活用が進められている。

あさのめ 埼玉県議会

全報告完成

全 36 ページ

挑戦、改革、実行力 古い政治を変える私の誓い

(全報告冒頭文より)

間も無く、埼玉県議会議員としての私の任期が終え、これまで毎任期終了時に行ってきたが、今回も「全報告」を出させて頂いた。投票により私へ与えて頂いた4年間の任期。この間に果たさせて頂いた仕事の報告と解説をすることは、やり遂げなければならぬ義務だと思っっている。ネット上でのコミュニケーションが増えてきた。スピードがあり、言葉に軽さやノリが求められている。だから、私の周りにも冊子での「全報告」を出すことに否定的な意見もあった。しかし、

私が36ページの文章をしたため、レイアウトを決め、写真を撮り、完成にこぎつけた。丁寧な言葉で伝えることは大切だと思っっている。議員として活動していると、よく「これは絶対にとかしなければならぬ」と感じることもある。大義は私の大切にしていく価値の一つだが、動かなければならぬというどうしようもない衝動力で私は動いてきた。不条理に立ち向かう人と共に戦い、より良い未来を先取りする決意を貫いてきた。人々の生活には様々なドラマがある。その一つひとつにきちんと応えようと仕事を果たしてきた。この冊子はその全ての記録だ。

〈プロフィール〉

昭和33年5月27日東京生まれ。山形県米沢市育ち。法政大学社会学部卒。小学校教員を経る。隣接の上尾市で全国最年少25歳で市議初当選。市議4期(25~41歳)。37歳で全国最年少議長。上尾市長選挙次点敗退。政治浪人7年。平成19年埼玉県議会議員(浦和区)トップで初当選。以後4期連続当選。

【お願い】
「あさのめ全報告」ご希望の方は、下記あさのめ事務所までご連絡頂ければ嬉しく存じます。こちらからお送り申し上げます



あさのめ
埼玉県議会議員 浅野目 義英

埼玉県議会 全報告

感動県政 感動浦和

県庁内に、季節感感じられる広場つくれる

全盲の中学教師 普通学級に復帰

光失った教師再び教壇に立たせよ

実現

第22回
あさのめ県政報告会
「ともに生きる」総決起大会

2023年 令和5年 **3月11日** 土

ロイヤルパインズホテル 浦和4階

開会 14時30分
閉会 15時00分
閉会 16時30分



第22回
あさのめ県政報告会
「ともに生きる」総決起大会

2023年 令和5年 **3月11日** 土

ロイヤルパインズホテル 浦和4階

開会 14時30分
閉会 15時00分
閉会 16時30分

埼玉県議会議員 あさのめ事務所

無所属 浅野目 義英

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和 2-3-2

☎ 048-762-7133 ☎ 048-762-7144

✉ urawajimu@asanome.com 🌐 www.asanome.com



内部討議資料

参加申込書

ファックス・メール
24時間受付中

fax 048-762-7144

電話・メールでのご連絡もお待ちしております
事務所電話 048-762-7133

✉ urawajimu@asanome.com

日時

2023年 令和5年 3月11日(土)

開場 14時30分 **開会** 15時00分 **閉会** 16時30分

第22回 「ともに生きる」総決起大会

埼玉県議会議員
浅野目 義英

あさのめ県政報告会

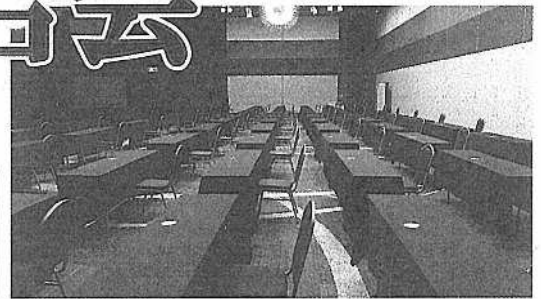
(スペシャルゲスト 前埼玉県知事 参議院議員 **上田清司**)

会場

ロイヤルパインズホテル浦和
● さいたま市浦和区仲町二丁目5-1 **4F**

会費

無料 お体ひとつでお越しくださいませ。



30分に1回の換気休憩をします。
お隣と1.5mの距離をとります。

いずれかを○でおかこみください。

ご出席 ・ ご欠席

お申し込みフォーム

ご芳名		ご同伴者	
ご住所			
TEL		FAX	
おひとこと			

お問合せ・お申し込み先

埼玉県議会議員 浅野目 義英 (あさのめ事務所)

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和2-3-2

TEL 048-762-7133 FAX 048-762-7144

Email urawajimu@asanome.com

www.asanome.com [浅野目義英] [埼玉県議会議員浅野目義英]





ごあいさつ申し上げます

謹啓

大寒から立春へと、静かに季節が移ろいゆくころ
如何お過ごしでしょうか。

ロイヤルパインズホテル浦和にて、3月11日14時半から、
「ともに生きる総決起大会」

第22回県政報告会

を開催させていただきます。

お誘い合わせの上ご出席いただけましたら、
この上ない嬉しさでございます。

守旧政治と対決し、地方政治を蘇生させるために、
今後も邁進したいと強く決意しています。

まだまだ厳しい寒さが続きます。ご自愛くださいませ。
お幸せを祈りあげております。

敬白

令和五年 大寒

浅野目義英